

安全・安心な生産物の提供に向けた 青果ネットカタログ「SEICA」の活用とその普及

筑波大学農林技術センター

筑波大学農林技術センターの実践や実習を通じて栽培・収穫された生産物は近隣地域の方々に販売されています。新鮮な農産物を楽しみにしている常連客も多く、特に米、ジャガイモ、サツマイモ、ナス、キウイフルーツの一部は特別栽培農産物として茨城県の認証を受けています。本センターでは生産履歴を付して販売するシステムを全国の大学農場に先がけて導入し、現在では販売するすべての作物、野菜、果樹について青果ネットカタログ「SEICA」[#]システムを活用して、ほ場名、作業計画(生産・出荷等)、栽培方法(肥料の種類、農薬の使用回数、薬品名など)の情報を登録・公開し、消費者への安全・安心の提供に努めています。また、これらの取り組みの広報や講習等を通じて学生や農業後継者の教育にも貢献しています。

青果ネットカタログ「SEICA」:(公財)食品流通構造改善促進機構が所有し、(国)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所及び農林水産研究計算センター(農水省)の協力により運用している公的データベース
<http://seica.info/>

主な広報・普及活動:

- ・ 関東・甲信越地域大学附属農場協議会第 36 回技術研修会「青果ネットカタログを利用した食の安全・安心情報発信」の開催(平成 19 年 9 月)
- ・ 青森県営農大学校においてモバイル/IT 活用農業論の講義・実習を実施し、SEICA 利用の取組みを支援
- ・ 学内食堂における特別栽培農産物ジャガイモの提供と SEICA を用いた生産履歴の公表
- ・ (財)食品流通構造改善促進機構機関誌への掲載(「SEICA の現場」大学の農産物直売で SEICA を活用 OFSI 2008 年 3 月号)



SEICA ラベルを貼り付けたジャガイモ(特別栽培農産物)とサツマイモの販売



関東甲信越地域大学附属農場協議会技術研修会における SEICA 情報入力実習

お知らせ

今日の料理に使用されているジャガイモは、筑波大学農林技術センターで栽培された特別栽培農産物です。

ジャガイモは、化学肥料を削減して栽培し、かつ栽培期間中は農薬を使用していません。除草剤を使用していないため、生物資源学類生が実施した生物資源生産科学実習では手取り除草を行い、ジャガイモ栽培の一環を担っています。

特別栽培農産物とは？
環境への負荷をできる限り削減した栽培方法により、農薬や化学肥料を削減するなど一定の要件を満たして生産された農産物です。

筑波大学農林技術センターでは、環境負荷に配慮した作物の生産活動ならびに教育研究活動に取り組み、より安全で安心な農産物を皆様に提供することを心がけています。

学内食堂における特別栽培ジャガイモと生産履歴検索の啓発ポスター

青森県営農大学校における SEICA 実習



筑波大学農林技術センター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL: 029-853-2543 FAX: 029-853-6205

E-mail: center-jimu@nourin.tsukuba.ac.jp